

第6回 市民と議会の意見交換会

あなた かがや

君が輝くまちづくり

《 報 告 書 》



開催日時：平成30年10月20日（土）

14時 ～ 16時

場所：五個荘コミュニティセンター

東近江市議会

1. 議長あいさつ

【開会にあたって 議長あいさつより】～手話をまじえて～

東近江市議会議長の市木と申します。ようこそ、お越しを頂きました。ありがとうございます。皆さんとお出合いでき、うれしく思います。議員全員、幅広い知識（力）を持つよう、手話の勉強をしています。みんなが、たくさんの思いやりで暮らせる街を作っていきます。私の目標は、元気な人も体が不自由な人もみんな幸せな街東近江です。

さて、暑い夏が終わりを告げ、秋が駆け足でやってまいりました。9月から10月にかけては、天候不順のうえ台風21号、24号、25号と、東近江市にも多くの爪痕を残し、不幸にも犠牲になられた方もおられ、また家屋や農業施設に被害も出ました。心よりご冥福をお祈りいたすとともに、一刻も早い復旧を願うばかりでございます。

平素は、東近江市議会に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、心よりお礼を申し上げます。昨年10月の改選で、1期議員が11名と平均年齢も58.2歳と若返った議会でございます。まだまだ不十分ながら、この1年、開かれたわかりやすい議会へと改革を進めてまいりました。

特に、議会での審査においては、市長側に厳しく注文をつけ、議員間での議論を深めた上での採決。そして結果をできるだけ詳しく、皆さまにお知らせできるよう心がけています。議会だよりを読みやすく編集し、議会ホームページも充実させるよう取り組んでいます。

そのほか、議員全員、災害や緊急時に備え、普通救急救命訓練を受講したり、冒頭にご挨拶しました手話の訓練や、議員の本分であります市内・市制の調査、先進事例の研究を始め、大学や研修施設にも伺って、議員研修を行うなど、休むことなく精力的に日々議会活動を行っております。東近江市議会は変わったね。進化したね。市民の代表としてふさわしいよね。と言っていただけのように努めております。

さて、多くの皆さまにお越しを頂きました、市民と議会の意見交換会も今年で6年目を迎えました。過去5年のべ45会場で開催をいたしましたが、今年は装いも新たに、気軽にご意見をお話いただける、カフェテリア形式で、お茶を飲みながらワイワイ話せる場を作りたいと考えています。

先程は、五個荘中学校吹奏楽部のご厚意を頂き、オープニング演奏をお楽しみいただきました。大素晴らしかったですね。滋賀県大会で見事、金賞ゴールドを収め、全国大会に出場された腕前でございます。毎日毎日、練習を重ねた結果と拝察いたします。東近江市議会もコツコツと研さんに努め、全国一暮らしやすい東近江市を目指してまいります。

後ほどご紹介させていただきますが、今回は若い学生さんも多く参加いただいております。東近江市議会は、昨年9月に立命館大学政策科学部立命館大学院政策科学研究科と連携協定を結んでおります。

今日は「学生からみた東近江市」と題してご発表頂き、第2部のカフェテリア形式の意見交換会もご参加頂く予定でございます。暮らしやすい東近江市にするには、こんな施設がほしいなとか、安全なまちにするため、ここに歩道がほしいよねとか、若者が定着するためには！観光を活性化するためにはとか。買い物のことや子育て環境のことなど、若いお母さんにご意見を頂ければ幸いです。

今日の貴重なご意見から議会の政策提案につながれば、今回の企画は合格点。皆さんの暮らしにつながれば大成功でございます。この後2時間ばかり、お付き合いをいただきますよう、よろしくお願いを申し上げ、開会にあたりましてのご挨拶とします。本日は、お越しを頂きまして誠にありがとうございます。



市木徹議長 開会あいさつ

2. 意見交換会の概要

- ・案内チラシ

第6回 市民と議会の意見交換会

あなた かがや 君が輝くまちづくり

～東近江イズムカフェのオープンです。～

どなたでもご参加いただけます。お茶を飲みながら
東近江市議会議員とワイワイ楽しく意見交換を行いませんか！

開催日時:10月20日(土曜日)

14時～16時(受付13時30分～)

場所:五個荘コミュニティセンター
(東近江市五個荘小幡町318番地)

♪オープニングイベント:五個荘中学校ブラスバンド部演奏

★第1部

- ①東近江市議会の取り組み
- ②立命館大学学生グループプレゼンテーション
「テーマ:学生から見た東近江市の魅力」

★第2部

①グループディスカッション:「あなたにとって住みやすいまちってどんなまち?」

グループになりワールドカフェ方式で行います。
カフェのような雰囲気の中でコーヒーやお茶を飲みながら
市政に対するご意見をもち寄っていただく
東近江市議会主催の意見交換会です。
今回のテーマは「あなたにとって住みやすいまちってどんなまち?」
テーマに沿ったご意見やご提言をお待ちしております。
事前のお申し込みは不要です。
どうぞお気軽にご参加ください。



お問い合わせ 東近江市議会事務局 電話:050-5801-5680

(手話通訳や要約筆記など必要な方は事務局までご連絡下さい。)

・内 容

これまで、平日の夜に市内3カ所に分かれての開催を、今年は、内容を見直し、土曜日の昼に一カ所で開催することで、多くの来場を呼びかけました。

議会の活動や審議内容の報告だけでなく、オープニングとして五個荘中学校吹奏楽部の演奏を行いました。会場が素晴らしい音色で包まれました。

また、昨年、連携協定を行った立命館大学・立命館大学院の学生による発表のほか、リラックスした雰囲気意見交換が行えるよう、ワールドカフェ方式のグループディスカッションを行いました。



オープニングイベント♪五個荘中学校吹奏楽部の演奏



★第1部 《大ホール》 14:00～

① 東近江市議会活動報告のプレゼンテーション

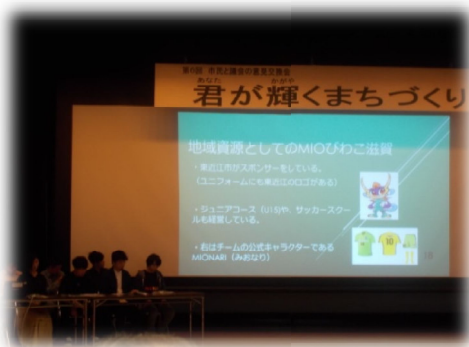
議員より、市議会の仕組みや市の予算・決算、事業など、各委員会の担当事業や、どのような審議を行っているかの説明を行いました。



② 立命館大学・立命館大学院学生グループプレゼンテーション

「テーマ：学生から見た東近江市の魅力」

昨年、連携協定を結んだ立命館大学政策科学部、立命館大学院政策科学研究科の学生7名から、プレゼンテーションを行っていただき、さまざまな提言を受けました。



★第2部 《小ホール》 15：00～

- ①ワールドカフェ：テーマ「あなたにとって住みやすいまちってどんなまち！？」
閉 会 16：00



3. ワールドカフェについて

・開催目的

東近江市議会では、議会の活動や審議内容を市民の皆様により知っていただき、皆様の声を聞かせていただくために「市民と議会の意見交換会」を開催しました。

・実施方法

「ワールドカフェ」とは、会議室で日々繰り返される機能的な会議よりも、カフェテーブルでゆっくりとした気分で話し合い、生き生きした意見交換や新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた話し合いの手法です。

この方法で、さまざまな価値観や違った環境をもつ人たちが集まる中でも意見交換がしやすいこと、思いのままを自由に発言できること、また多くのアイデアが創出されることを期待し、この手法を採用しました。

4. ワールドカフェの会場の様子

初めての試みです！

^{あなた}君が輝くまちづくり「東近江イズムカフェ」オープンです。



～開場前の風景～



～受付～

市民の皆さんが少しでもリラックスして話せるような雰囲気を作りました。

テーマ「あなたにとって住みやすい まちってどんなまち!？」

司会の青山議員より、ワールドカフェの進め方の説明が、パワーポイントを使って行われました。



各テーブル（10テーブル）に7～10人で座り、テーマについて、10分の会話を3ラウンド行いました。

コーヒーやお菓子をつまみながら、リラックスした雰囲気での話し合いを行いました。立命館大学政策科学部と政策科学研究科の皆さんにも一緒に入っていました。



テーブルの上の模造紙に、いいなと思ったことや思いついたことなど、付箋を貼って自由に書いてもらいます。多くの意見が出され、メモや書き込みがいっぱいです。



～席替えタイム～

ホスト役を残し、ラウンド毎にメンバーを入れ替えます。



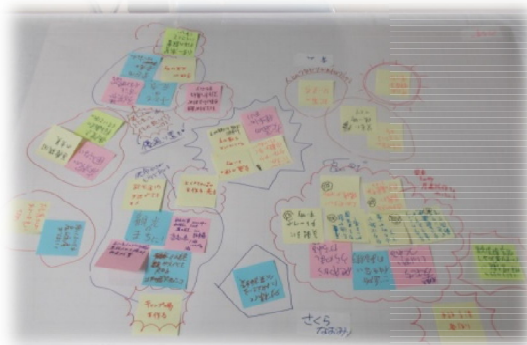
違うテーブルに移動し、ラウンド1、ラウンド2で得られた発見や気づきを共有しました。



みなさんから活発な意見がでて、大変盛り上がっています。



それぞれのテーブルのホストから、どのような意見が出たか簡単にまとめて発表しました。
多かった意見、着眼点が鋭い意見など、全員で意見が共有できるようにしました。



5. ワールドカフェでのご意見

テーマ「あなたにとって住みやすい まちってどんなまち!？」

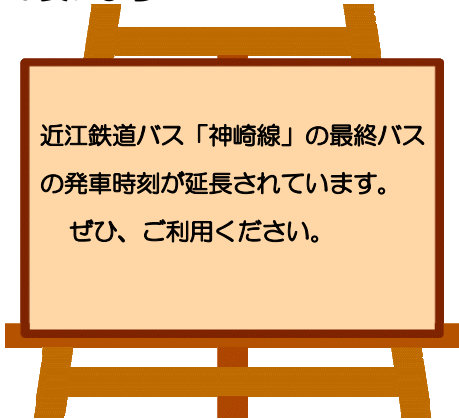
ワールドカフェでいただいたご意見、アイデア、考え方について、付箋にご記入いただきました。

主なものは下記のとおりです。委員会別にご紹介させていただきます。

総務常任委員会

主な内容

- ・バスの本数が少ない。旧湖東町にはバスが来ない。子ども一人では乗れない。
- ・最終便をもっと遅くしてほしい
- ・交通の便（バス、電車、自動運転車、タクシー）が良いまち
- ・交通インフラが整備されているまち
- ・中心市街地へのアクセス良
- ・老人に分かりやすい交通アクセス
- ・道路が広いまち
- ・自転車道が整備されている
- ・子どもが外で遊べる場があるまち
- ・災害時に安心して避難できる場所がある
- ・バリアフリーのまち（ソフトもハード）を望む
- ・人にやさしいまち（いつも挨拶ができる、助け合いができる、高齢者にやさしいまち、居場所のあるまち、思いやり、地域愛、輪、絆、人情）
- ・地域コミュニティのあるまち（交流、場所、情報、知る事ができる）
- ・八日市駅前に市民交流センターがほしい
- ・多様性に感じられるまち（新しい文化、古い文化、障害者）
- ・若者が住みやすいまち（若い能力を活かす、田舎の習慣にとらわれない）
- ・若者が働く場所があるまち（働きやすい環境）
- ・友達が沢山いるまち
- ・子どもが沢山いるまち（子育てしやすい）
- ・3世代が共に暮らせるまち



近江鉄道バス「神崎線」の最終バスの発車時刻が延長されています。ぜひ、ご利用ください。

- 娯楽施設が沢山あるまち（24 時間あいている店、コンサートホール）
- 街の中に公園があるまち
- 雰囲気の良い喫茶店があるまち

- ちょこっとバスと観光を組み合わせる
- 自然豊かなまち（環境にやさしい、びわ湖、山、里、自然にやさしいまち）
- 色彩のあるまち
- 空家の活用
- 古い車の税金が安いまち
- 税の優遇（3 世代同居、若者の IJUターン）

- 古い文化を知ることが出来るデータベース
- 先進例の学習ができる
- 東近江市といえばこれというものが欲しい
- 新しいものをもっと取り入れるべき



委員会として調査研究していくもの

- ① バス等、公共交通機関の利便性向上
- ② 安心・安全なまち
- ③ 地域コミュニティの再生
- ④（若者世代の）定住・移住の推進



福祉教育こども常任委員会

主な内容

- ・ご近所の交流が有り、友達や多くの人と関われるまち
- ・障害者が安心して暮らせるまち
- ・生活介護作業所の不足、日中一時支援事業所が東近江圏域にない
- ・高1の息子が近江学園、入居できる施設が無いので支援してほしい。重症心身障害児の入浴を東近江市は市としてやって欲しい（過去事例あり）
- ・市民全員が手話のできるまち
- ・官公庁に手話通訳者をおいてほしい
- ・私達は耳が聞こえませんが声で話せません。JR等で緊急時のアナウンスがあっても聞こえないのでどうしたらよいか
→JR能登川駅へみどりの窓口の設置を要望しています



- ・医療機関の充実
- ・バリアフリーのある安全・安心なまち
- ・医療費・税金の安いまち
- ・高齢者に優しい街、高齢者が大切にされるまち



- ・教育環境の充実
- ・子どもたちが自分の住むまちを素敵だと思ってもらいたい
- ・子育てがしやすいまち（元気にのびのびと）
- ・子ども世代から人材育成するまち（地域の文化づくり）
- ・子どもが外で遊べる場があるまち
- ・交流のきっかけの手助けをして欲しい
- ・スポーツ少年団が利用する施設は無料にして欲しい
- ・スポーツ少年団の交流を増やして欲しい

委員会として調査研究していくもの

- ①障害者が安心して暮らせるまち
- ②医療機関の充実へ向けて（医療費含む）
- ③教育環境の充実へ向けて



産業建設常任委員会

主な内容（市へ要望していくもの）

- ・ 下水道施設の掃除が苦痛。市への委託をお願いしたい
- ・ 雪対策（除雪）を万全をお願いしたい
- ・ 中心市街地への公共交通（バス・電車・タクシー・自動運転車）の整備
- ・ 鈴鹿からびわ湖まで一本の道路が欲しい
- ・ 愛知川に架かる橋の整備

- ・ 大型商業施設が近くにあり、買い物に行きやすいまち
- ・ ちよこっとバスと観光地を組み合わせる
- ・ バスの増便と最終時間の延長と旧湖東町にも来て欲しい
- ・ 三世代が一緒に居住出来る環境を整えてほしい
- ・ 若者が働く場所があり、住みやすいまち（田舎の慣習にとらわれない）

- ・ ゆっくり農業で生活できるまち
- ・ 街が綺麗で、娯楽施設等へ出かけられる施設が有るまち

- ・ 観光政策の推進（若者の集まるまち）
- ・ 特産品開発
- ・ 東近江市といえばこれというものが欲しい



委員会として調査研究していくもの

- ① 農地を守る政策だけでなく、農地をもっと活用できる様にして欲しい
- ② 交通インフラの整備
- ③ 観光政策の推進
- ④ 獣害対策をもっとしっかりして欲しい
- ⑤ 空き家の活用。
- ⑥ 道路が広く自転車道が整備されたまち
- ⑦ 災害時に安心して避難できる場所・施設の整備



今回の感想、その他（グループA～J班より）

- 市民、議会、行政それぞれの立場や考え方があり全ての思いが実現できることは難しいが、お互いが寄り添い思いを共有させることで新たなものが生まれてくると感じた。
- 少子高齢化社会や時代の急激な変化によって住民意識が少しずつ変化してきている、行政サービスもしっかり未来を見据えた改革が必要だと感じた。
- 地域の特徴をもっと知るべき、知らないことが多い
- 人口減少社会に対して、若い人が帰ってきたい、住み続けたいと思うためには、交通手段や働く場の充実とともに、親の世代も住んでいて良いと思える街、人と人のつながりのある街であることが大切である
- 皆さんが少子高齢化を実感されておられ、若者や子どもに期待されていると感じました。従って若者にもっと住んでもらうにはどうすれば良いかもっと考えるべきと感じました。
- インフラやスーパー、病院などの生活条件よりも、近所付き合いや、人との会話が気軽にできるまちが優先ではないか
- 初めての試みで若干の戸惑いもありましたが、マンネリ化しつつあった。今までと違った多くの市民の方が参加されたことは成功したと思います。
- 議会側としてファシリテーターの訓練・育成が必要だと思いました。
- 初めてのワールドカフェで市民の皆さんの関心はどうかと心配しましたが、多くの方がご参加いただき、活発な意見交換会になった。また、立命館大学の学生からの提案は、フレッシュで夢があり、東近江市の参考になった。
- あの道がどうか、この橋がどうか、具体的な要望が多く出されると思っていたが、概念的な話が多かった。
- テーマが「あなたにとって住みやすいまち」という事もあり、抽象的な話が多かった
- 市民がざっくばらんに自分の町について話合える場としては最適だったのではないか
- 予想を超える参加者で、多少困惑したが、ざわざわした空気が逆に緊張をやわらげ、自由な意見交換につながったように感じる
- 「話し合う」導入としては成功だと思うので、どう次のステップを作っていくか
- 「誰にとって」を考えると、全てを揃えることは出来ない。
- 「悪い事柄」を言わずに、良い所を見つけ語って行こう。
- 視聴覚障害の方からも意見を直接のべて頂き、お聞きする事が出来ました。（手話通訳の皆様ありがとうございました）

- 障害者差別解消法が施行され、街でいろんな障害を持たれた人と共に暮らしていき事が推進されて行く事に成りました。
しかし現実には部落差別の解消をめざしているのが現状だと思います。
全ての人の人権が尊重される社会の実現が望まれ、障害を持った人を含めて、あらゆる人の居場所が有り活躍できる社会の実現をめざすことが大切

6. アンケートの結果

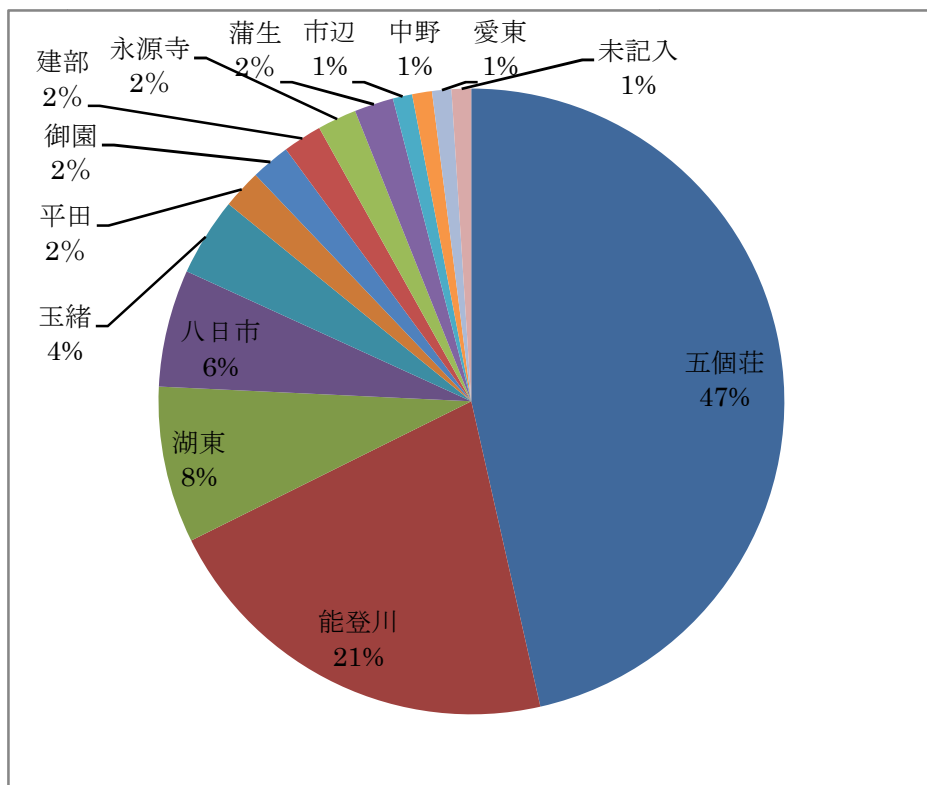
ご参加いただいた市民の皆さまに、簡単なアンケートを実施しました。その結果は次のとおりでした。

(質問1) あなたのお住まいは？

- ア、東近江市内 (平田・市辺・玉緒・御園・建部・中野・八日市・南部
永源寺・五個荘・愛東・湖東・能登川・蒲生)
- イ、東近江市以外 ()

お住まい	
五個荘	46
能登川	21
湖東	8
八日市	6
玉緒	4
平田	2
御園	2
建部	2
永源寺	2
蒲生	2
市辺	1
中野	1
愛東	1
未記入	1

99



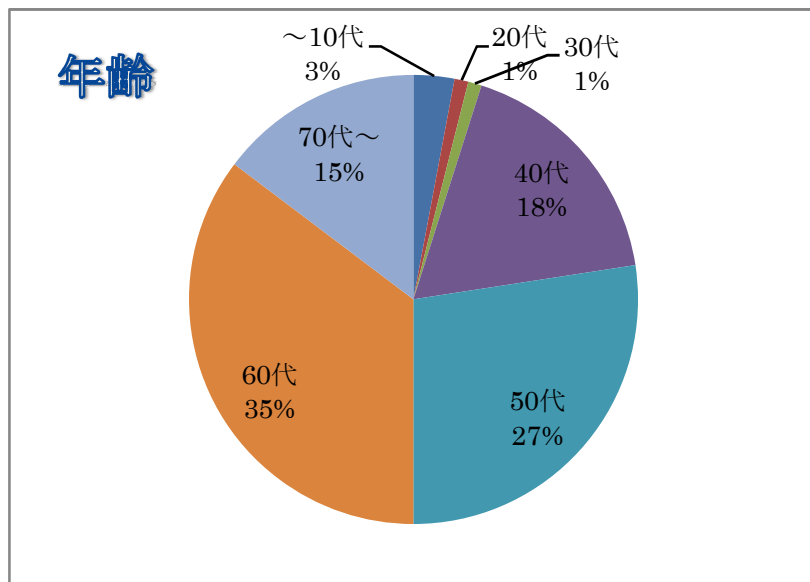
(質問2) あなたの年齢は？

ア、～10代 イ、20代 ウ、30代 エ、40代 オ、50代
カ、60代 キ、70代～

年齢

～10代	3
20代	1
30代	1
40代	18
50代	28
60代	36
70代～	15

102



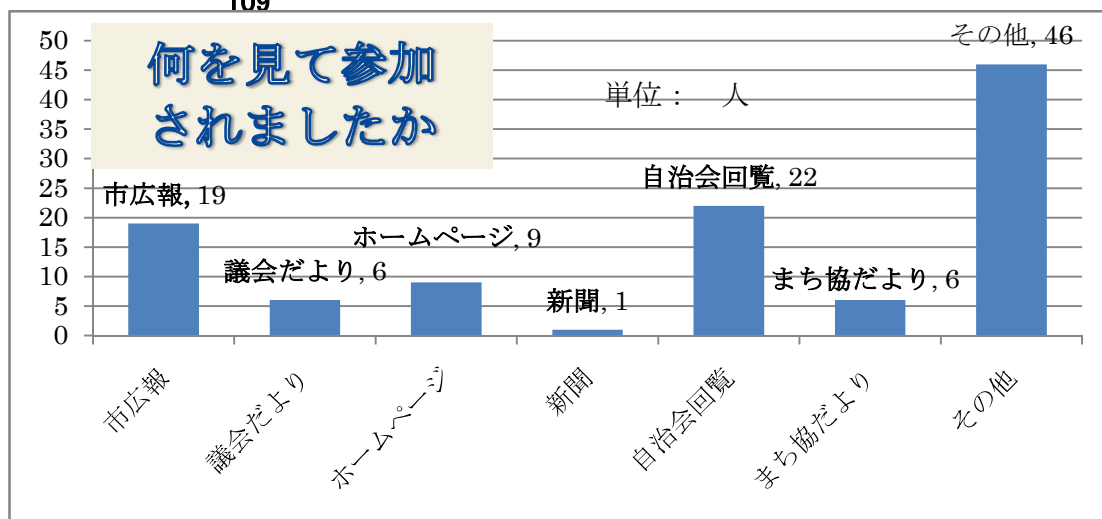
(質問3) 何を見て参加されましたか

ア、市広報 イ、議会だより ウ、スマイルネット エ、ホームページ オ、新聞
カ、自治会回覧 キ、まち協だより ク、その他（ ）

何を見て参加されましたか

市広報	19
議会だより	6
ホームページ	9
新聞	1
自治会回覧	22
まち協だより	6
その他	46

109

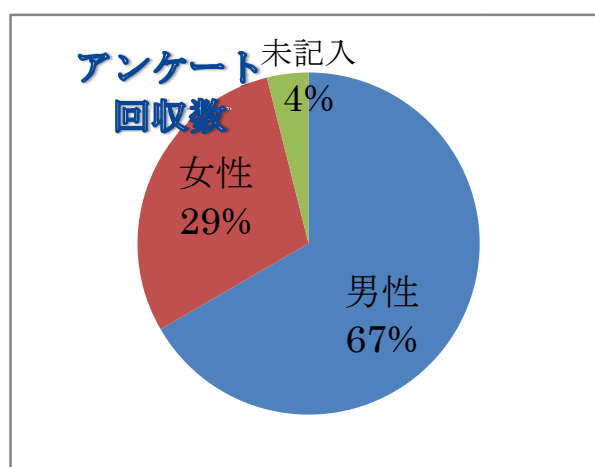


(質問4) アンケート回収数

アンケート回収数

男性	68
女性	30
未記入	4

102



(質問5)

※ご意見・ご要望・お気づきの点などありましたらご記入ください。

- 情報アクセス（誰もがいつでもどこでも成せるように）のネットワークに
- 農業、山、市外への行きやすさ（彦根、近江八幡、甲賀など）
- 借金が一人当たり50万。多いことをはじめて知った
- 八日市を中心としたまちづくりはすばらしいが、交通利便が心配である。市外の人
が来れるまちが必要である。そういう機会を多く作ってほしい
（赤ちゃんから高齢者も）
- 東近江市生まれの方に、地元は何を取り入れたらいいかのアンケートをもらっては。
- 能登川コミセンでしてほしい
- 市街化調整区域を見直すべき。家が建てられない。若い人が住めない。
- 始めて参加しましたが、よく理解できました。居場所が誰でもあるまちにしてい
いです
- 観光客が定住できる施設

- 大学のプレゼンを見て、何故東近江市なのか。（お城はないが）慎重に見る必要があるか
な
- 大学生の提案は、もっと具体的な提案がほしかった。現地確認が出来ていない。机
上のものと思われた。さらなる研究を
- 学生の若い感覚での意見、大いに参考にし、今後のまちづくりに活用できることを
願う
- 立命館大学のプレゼンは特に興味をもてなかった。もう少しふみこんだ調査をして
ほしい。
- 学生から見た東近江市というのがわかりやすく、少しわかったように思って良かっ
た
- 学生さんの発表は大変興味深かったです
- 立命館大学の学生さんのプレゼンテーションは大変興味あるものであった
- 外から見た東近江市の提案は良かった

- 議長の手話に感動しました
- 手話が良かった
- 議員の皆さんが、手話ができることに驚きました
- 手話言語条例成立をお願いします

- 市の行政について、あまり耳にする事がなかったので、こんな事をされているのだと市民としてはずかしながら知りました。もっと知って期待したいです
 - 交流・意見交換の時間が少ないのではないか
 - 市議の皆さんが企画、運営してるところが良かった
 - 昨年から大きく企画が変わったことは大変良かったと感じる。ただ、参加人数が少ない。PRが必要である
 - 目新しい取り組みで、興味深く、感心しました
 - 会を広く知らせる方法があるといいと思います
 - 毎年交流会をし、一般、障害者、いろいろ集まってほしい
 - 大変ご苦労さまでした
 - よく準備された説明でした。説明で副議長、副常任委員長が直接説明に立つ姿勢が良いと思います。立命の藤井ゼミ生のプレゼンもそれなりに面白かった
-
- 東近江市の議員さんには度々マスコミで取り上げられたりしているような不正や強要が無いように、市民目線で今後もますます頑張ってくださいよう、お願いします

大変多くの感想をありがとうございました。今後の市政に役立てていきます。
今後もさまざまな取り組みで市民の皆様と意見交換をしていきたいと考えています。

ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。



編集：市民と議会の意見交換会運営委員会

東近江市議会議長：市木 徹

委員長：大橋 保治 副委員長：西崎 彰

委員：青山 孝司・吉坂 豊・森田 徳治

安田 高玄・山中 一志・西澤 善三